

公益社団法人私立大学情報教育協会
2020年度第1回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：令和2年4月20日（月） 11：30～13：30
II. 場 所：Teams ネット会議室
III. 参加者：柴田担当理事、宮川委員長、中嶋副委員長、鈴木委員、服部委員、峰内委員、
向井委員、（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

担当理事挨拶の後、コロナウィルス感染拡大が収束していないことから、8月予定の大学情報セキュリティ研究講習会の開催について検討を進めた。

(1) 集合研修実施の可否について

- ・ この先の収束状況は不明だが、集合での開催は困難と考え、集合研修の実施は見送ることにした。
- ・ 開催方法としては、ネット方式が考えられるが、現状は、7月までオンライン授業の実施、8月に実習授業の実施などで、情報センター等部門の負担が例年より増しており、講習会の対応が困難になることが予想される。
- ・ 講習内容に関連しては、テレワークやオンライン授業など感染対策の時に、何をどのように情報セキュリティに配慮したか共有してはどうか。

(2) ネット方式での開催方法について

- ・ 運営案としては、Zoom等のテレビ会議ツールを活用し、情報提供・質疑応答、グループ機能により討議を行うと、また、従来のセキュリティインシデント分析コースでの演習は遠隔環境では困難と思われる、コースの統合を検討することなどが提示された。
- ・ 講演形式は実施できると考えるが、ディスカッションは方法を検討しないと難しいのではないかと意見があった。
- ・ 技術的な演習実施は困難ではないか。
- ・ 提示・説明、質疑応答の情報提供型を中心としたプログラムを検討してはどうか。
- ・ 情報提供は、例えば、この時期にどのような工夫を行ったのか、テレワークなどで学内の機密情報をどのように学外で取り扱ったのかなど、各大学の対応を相互に確認することで、各大学が求める情報を提供し、春学期の経験を秋以降に生かす形を検討してはどうか。
- ・ グループ討議は、予めビデオで情報提供を受け、共有ファイルの利用でまとめを行うなど、何らかの工夫ができるのではないか。
- ・ 開催時期は、9月中旬から10月上旬にネット方式で検討することにした。また、日数は、1日間を想定するが時間を含めて要検討の必要がある。

(3) 情報提供のテーマについて

- ・ テレワークやオンライン授業の課題についてテーマ設定することで、以下のような意見があった。
- ・ テレワークを行う上でセキュリティ課題の中で、セキュリティポリシーに含まれていないケースが発生し、ポリシーの見直しが求められる。
- ・ PC・WiFi等の利用が必要となり、通信環境や費用負担の問題がある。また、PCの無い学生は、スマホで最低限対応している。
- ・ テレワークの対策例として、大学にVPNサーバ経由で接続させ、リモートデスクトップの環境で制御して対処している。

V. 次回のスケジュール

次回の運営委員会は、メールで調整の上、6月に開催し、研究講習会の開催について継続検討することとしている。